

がん 対策 特集



愛知県議会議員
かわしま太郎

がんは、全国的においても愛知県においても、ともに死亡原因の第1位であり、今後もがん罹患者の増加が見込まれています。こうした中、平成24年6月に国の「がん対策推進基本計画」が変更され、また平成24年9月定例県議会において、議員提案により「愛知県がん対策推進条例」が制定されました。そして愛知県では、これらを踏まえ、現在「愛知県がん対策推進計画」を策定中です。

今回は、愛知県のがん対策についてご紹介し、皆様とともに今後のがん対策のあり方について考えてみたいと思います。

愛知県がん対策推進条例

がんは、本県における死亡の最大の原因であり、また、高齢者だけでなく、子ども、働き盛りの者など誰もが罹患する可能性のある病気であるため、県民の生命及び健康にとって重大な問題となっている。

このため、がんの予防及び早期発見の推進とともに、県民が県内のどこに住んでいても等しくその意向を尊重した最善のがん医療が受けられ、療養生活と職場、家庭、地域その他の分野における生活との両立ができる、がんになっても安心して暮らせる社会の実現が、今強く求められている。

こうした認識の下、全国最高水準のがん対策を目指し、県、市町村、保健医療関係者、事業者並びにがん患者及びその家族その他の県民が一体となって、がんの予防及び早期発見、がん医療、がん研究、がん教育その他の分野におけるがん対策に一層取り組むために、ここにこの条例を制定する。

条例の主な内容

- ・県の責務、市町村の役割、保健医療関係者の役割、県民の役割、事業者の役割(第2条～第6条)
 - ・がんの予防及び早期発見の推進、がん医療の充実(第7条～第9条)
 - ・女性に特有のがんや小児がんに係るがん対策の充実(第10条～第11条)
 - ・緩和ケアの充実、在宅医療の推進、がん患者等への支援(第12条～第14条)
 - ・がん教育、がん研究の推進(第17条、第18条)
- ▶条例の全文は県ホームページ (<http://www.pref.aichi.jp/0000055493.html>) をご覧ください。



条例の特色

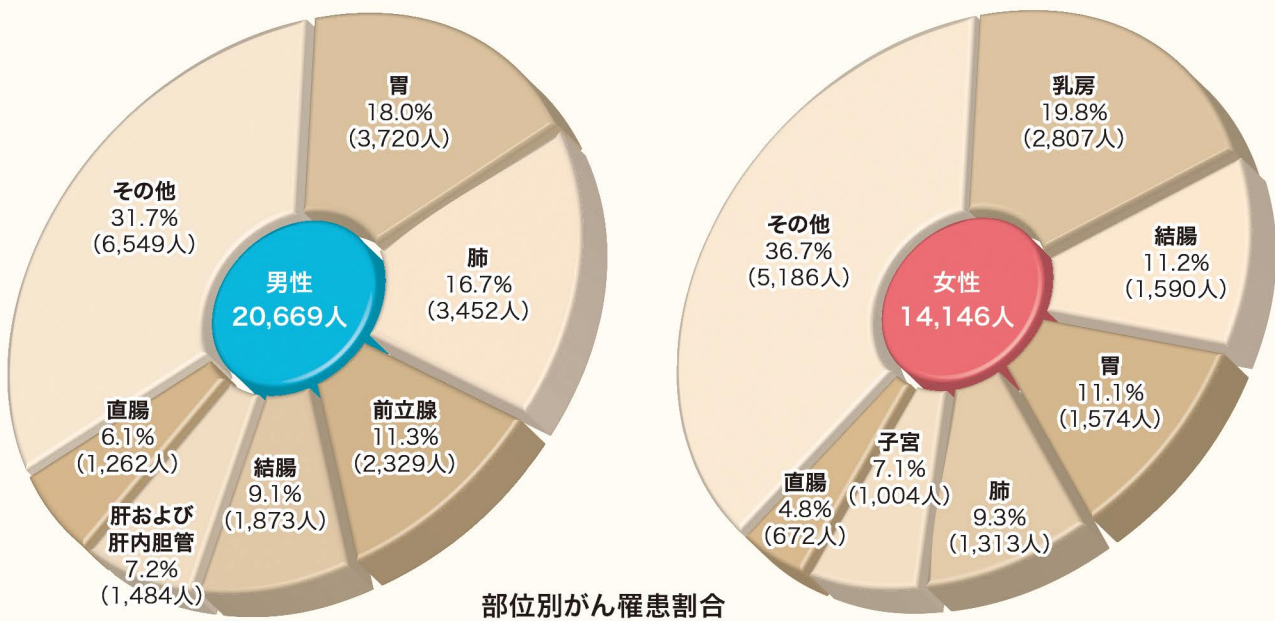
- ・医師だけでなく、歯科医師、看護師、薬剤師、放射線技師など様々な専門技術を持った保健医療従事者がチームを組んで医療を進めていくチーム医療の推進について規定した。(第9条関係)
- ・小児がん医療の拠点病院の整備をはじめとする、小児がんに係るがん対策の充実について規定した。(第11条関係)
- ・愛知県がんセンターに研究所を有している本県の特徴を踏まえ、がんセンターが中心となって、がん研究の推進を図るための施策について規定した。(第18条関係)

愛知県がんセンター

昭和39年12月設立。病院と研究所を併せもつ、県立としては日本初のがん専門施設。中央病院・研究所(千種区)、愛知病院(岡崎市)、尾張診療所(一宮市)からなる。
▶詳しくはホームページ (<http://www.pref.aichi.jp/cancer-center>) をご覧ください。

愛知県におけるがん罹患の状況

愛知県在住で新たにがんと診断された方は平成20年1月から12月の1年間で**34,815人**(男性20,669人女性14,146人)でした。部位別にみると、男性で最も多いがんは胃がんであり、肺、前立腺、結腸、肝および肝内胆管、直腸と続き、女性で最も多いがんは乳がんであり、結腸、胃、肺、子宮、直腸と続きます。



愛知県におけるがん検診の受診率の状況

年度	20年度	21年度	22年度
愛知県	15.2%	16.4%	14.7%
全国	10.5%	10.5%	10.2%

年度	20年度	21年度	22年度
愛知県	19.5%	21.1%	20.0%
全国	15.0%	15.4%	15.8%

年度	20年度	21年度	22年度
愛知県	27.0%	32.8%	38.2%
全国	24.0%	26.6%	31.6%

年度	20年度	21年度	22年度
愛知県	23.5%	25.6%	23.8%
全国	16.1%	16.2%	15.9%

年度	20年度	21年度	22年度
愛知県	19.1%	25.4%	31.1%
全国	19.9%	23.4%	27.9%

受診率算定対象年齢が40歳以上(子宮がんは20歳以上)69歳以下の場合の受診率
(新がん対策推進計画の指標)

出典：厚生労働省「地域保険・老人保健事業報告」「地域保険・健康増進事業報告」

平成24年度における「がん対策」に関する事業一覧

事業概要	事業名	事業内容	国庫補助の有無	24年度予算額 (単位:千円)	実施主体
(1) 放射線療法及び科学療法の推進並びにこれらを専門的に行う医師等の育成					
質の高い看護師育成事業		がん及び糖尿病の患者に対する看護ケアの充実のため、臨床実践能力の高い看護師の育成強化を推進するための実務研修を実施し、看護職員の資質向上を図る。	看護職員専門分野研究事業(10/10) (厚生労働省医政局)	11,550	県
認定看護師育成事業		県立大学看護部の(社)日本看護協会の認定看護師がん化学療法看護教育課程において、専門知識を習得した看護師の育成を促進する。	無	— 愛知県公立 大学法人の 予算による	県
(2) 治療の初期段階からの緩和ケアの実施					
がん対策事業		がん診療に携わる医師等の医療従事者を対象に研究会を開催する。	がん診療連携拠点 病院機能強化事業 (1/2) (厚生労働省健康局)	無 ※(6)に含む	各拠点 病院
(3) がん登録の推進					
がん登録事業		医療機関に届出票の提出を働きかけるとともに、地域がん登録の執行体制の充実を図る。	無	4,992	県
(4) がん予防・早期発見の推進					
たばこ対策推進事業		禁煙キャンペーンを始めとした禁煙啓発を実施するとともに、禁煙指導者の育成等を行う。	たばこ対策推進事業 (1/2) (厚生労働省健康局)	2,801	県
がん対策事業		・がん検診精度管理事業 ・がん検診従事者講習会 ・がん検診普及啓発事業	無 無 無	387 260 500	県
子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例基金事業		市町村が実施する子宮頸がん予防ワクチン接種事業に要する経費に対して補助する。	無	1,350,610	市町村
(5) がん医療に関する相談支援及び情報提供					
がん対策事業		相談支援センターの相談体制への支援と患者会、市町村と連携して患者支援の強化を図る。	がん診療連携拠点病院 機能強化事業(1/2) (厚生労働省健康局)	無 ※(6)に含む	各拠点 病院
(6) がん医療水準均てん化の促進					
がん対策事業		がん医療に従事する医師等に対する研修、がん患者やその家族等に対する相談支援、がんに関する各種情報の収集・提供等を実施する。	がん診療連携拠点病院 機能強化事業(1/2) (厚生労働省健康局)	52,074 77,880	県 各拠点 病院
(7) がんに関する研究の推進 ※がん研究所の予算額全ての額(人件費含む)					
基礎医学的研究		がんの予防・診断・治療の技術革新を目指した研究を推進する。	無	1,386,303	県
(8) その他					
がん対策推進計画策定事業		がんの予防や検診等に関する適切な情報提供体制の整備やがん医療の底上げや充実促進を図る。	無	1,988	県
粒子線治療推進事業		民間重粒子線の誘致を行うため、医療連携会議の開催等、事業の推進に必要な支援を行う。	無	626	県
小児がん患児復学支援検討事業		小児がん患児が長期入院からの復学に係る研修を養護教諭に行うなどの支援を行う。	無	164	県
				「がん対策」予算合計	2,890,135

平成25年度 がん対策 重点事業

新規

女性に特有のがん対策推進事業

がん医療において女性が検診、治療を受けやすくするために、効果的な環境整備を推進するための会議、また、女性に特有のがん検診推進フォーラムの開催。

がんセンター中央病院 外来化学療法センターの開棟

医療技術や薬剤の進歩により、がん治療における化学療法（抗がん剤治療）が増加していることに対応するため、がんセンター中央病院に外来化学療法センター棟を建設し、外来化学療用の治療ベッドを拡充する。
○整備内容：60床（現行30床） 延1,994㎡
○開棟予定：平成25年初夏

新規

働く世代のがん検診受診促進事業

働く世代のがん検診受診を促進するとともに、がん罹患した場合にも安心して勤務継続するための方策について検討する企業の産業医、経営者協会代表等で構成する就労継続支援検討会議の設置、及び企業・関係団体との共催によるシンポジウムの開催。

新規

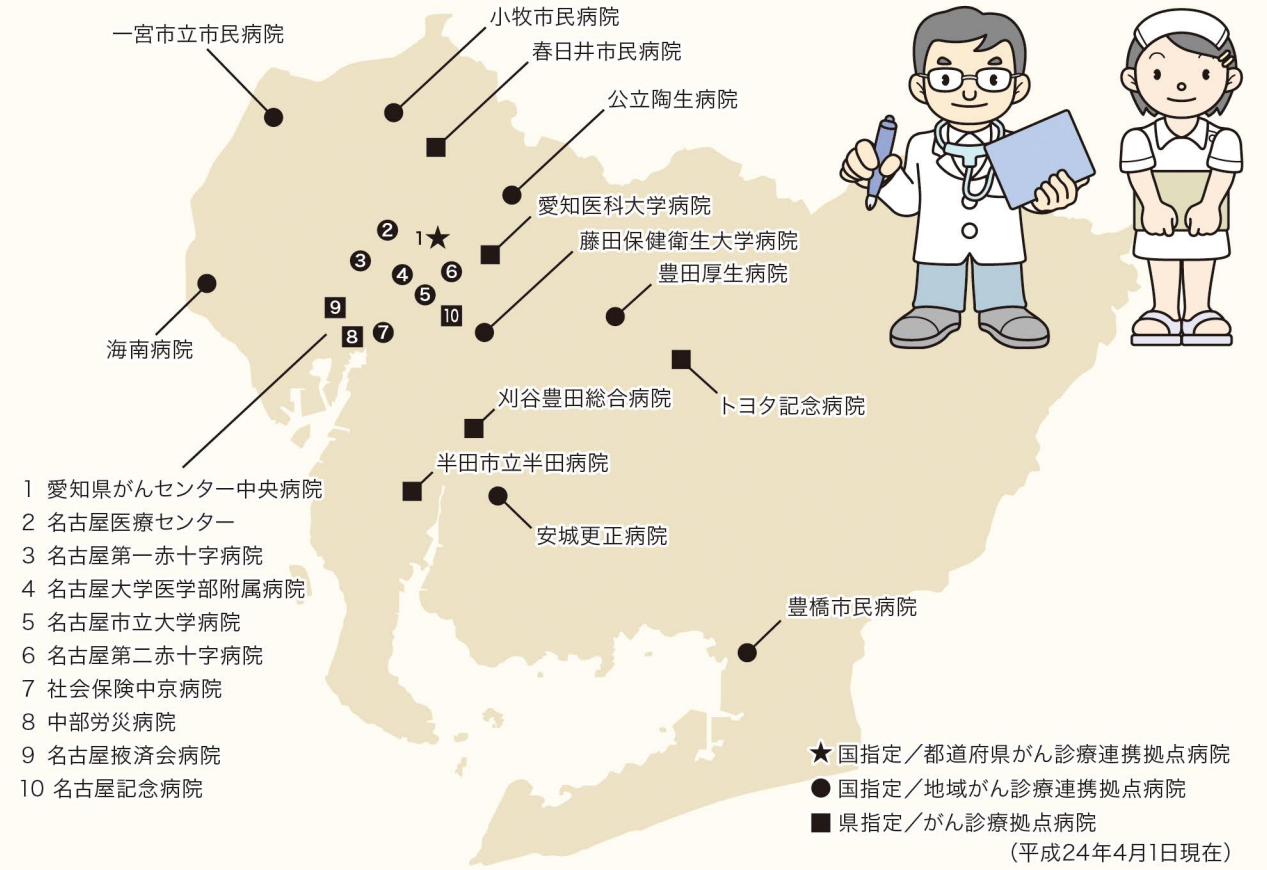
がん患者・家族に対する相談支援事業

自らががん治療を経験した「ピア・サポーター」による、がん患者・家族に対する相談支援事業等を実施。

※新規事業については予定です。

■ がん診療連携拠点病院・がん診療拠点病院のご案内

がん診療連携拠点病院は、全国どこに住んでいても質の高いがん医療が受けられるよう、地域ごとに厚生労働大臣が指定した病院です。指定されている病院は、がん医療の内容、医療従事者、設備、情報提供・相談体制など一定の基準を満たしています。また、がん診療拠点病院は、愛知県におけるがん診療の充実を図るために、厚生労働大臣認定と同等の機能を有する病院を、愛知県知事が指定した病院です。



■ がんについての相談は相談支援センターに

相談支援センターは、がんの患者さんやご家族の方のがんについての理解を助けたり、療養についての相談に応じるために、がん診療連携拠点病院などに設置されています。病院内にありますが、その病院に通院などをしていなくても、電話、面談などの方法により、どなたでも無料で相談できます。（※面談には予約が必要な場合があります。お電話でご確認下さい。）

愛知県がんセンター中央病院 相談支援室	名古屋市千種区鹿子殿1-1	052-762-6111
国立病院機構名古屋医療センター 相談支援センター	名古屋市中区三の丸4-1-1	052-951-9011
名古屋大学医学部附属病院 地域医療センター	名古屋市昭和区鶴舞町65	052-741-2111
社会保険中京病院 がん相談支援センター	名古屋市南区三條1-1-10	052-691-7151
名古屋市立大学病院 がん相談支援室	名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1	052-851-5511
名古屋第一赤十字病院 患者相談室	名古屋市中村区道下町3-35	052-485-3503
名古屋第二赤十字病院 地域医療連携センター相談支援室	名古屋市昭和区妙見町2-9	052-832-1121
名古屋掖済会病院 がん相談支援室（※）	名古屋市中川区松年町4-66	052-652-7711
名古屋記念病院 がん相談支援室（※）	名古屋市天白区平針4-305	052-804-1111
中部労災病院 相談支援センター（よろず相談室内）（※）	名古屋市港区港明1-10-6	052-652-5511（内線3031）
愛知県厚生農業協同組合連合会 海南病院 がん相談支援センター	弥富市前ヶ須町南本田369	0567-65-2511
公立陶生病院 がん相談支援室	瀬戸市西迫分町160	070-5038-6270
藤田保健衛生大学病院 がん相談支援室	豊明市掛田町田楽ヶ窪1-98	0562-93-2284
愛知医科大学病院 がん相談支援室（※）	長久手市岩作雁又1-1	0561-61-1859
一宮市立市民病院 がん相談支援室	一宮市文京2-2-22	0586-71-1911
小牧市民病院 がん診療相談支援センター	小牧市常普請1-20	0568-76-4131
春日井市民病院 がん相談支援室（※）	春日井市鷹来町1-1-1	0568-57-0684
半田市立半田病院 がん相談支援センター（※）	半田市東洋町2-29	0569-22-9937
愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院 がん相談支援室	豊田市浄水町伊原500-1	0565-43-5000
トヨタ記念病院 がん相談支援室（※）	豊田市平和町1-1	0565-24-7169
愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更正病院 がん相談支援室	安城市安城町東広畔28	0566-75-2111
刈谷豊田総合病院 がん相談支援室（※）	刈谷市住吉町5-15	0566-25-8110
豊橋市民病院 患者総合支援センター がん相談	豊橋市青竹町字八間西50	0532-33-6290

（※）は、がん診療拠点病院（愛知県知事指定）の相談支援センター
（平成24年4月1日現在）

病院にある「相談支援センター」のほか、患者さんやそのご家族が相談できる場もあります。

名古屋市がん相談・情報サロン ピアネット
所在地：名古屋市中区丸の内2-1-36 NUP・フジサワ丸の内ビル1階
交通手段：名古屋市営地下鉄鶴舞線または桜通線丸の内駅下車1番出口から北へ徒歩1分
電話番号：052-253-5588
開設時間：午前10時から午後4時まで（土・日・祝祭日・年末年始 休み）

愛知県がん対策推進計画の策定について

▶ 策定の目的等

国の「がん対策推進基本計画」の変更と「愛知県がん対策推進条例」の制定を踏まえ、新たな課題への対応方針を盛り込むなど、本県の現状に即した「愛知県がん対策推進計画」を策定する。

▶ 計画期間

平成25年度から平成29年度まで

▶ 計画策定体制

愛知県健康づくり推進協議会で検討

▶ 基本理念

がんになっても安心して自分らしく暮らせるあいちの実現

▶ 基本方針

- ① 年齢・性・就労状況等に配慮したがん患者や、その家族の方々の視点に立ったがん対策の推進
- ② 県内どこに住んでいても病状に応じた適切ながん治療や緩和ケアを受けられるがん対策の推進
- ③ がんの正しい知識の普及啓発・教育を通じて、がんの予防、早期発見を進めるがん対策の推進
- ④ がんの研究等の推進を踏まえたがん対策の推進

▶ 主な計画の内容

・がんの死亡率の減少

目標値	がんの年齢調整死亡率（75歳未満、10万人当たり）を10年間（20年度→29年度）で20%減少 男性 119.5→95.6 / 女性 65.7→52.6
取組施策	がんの予防・早期発見、がん治療、緩和ケア、がん登録を踏まえた研究の推進 等

・自宅で治療を続けられるがん患者の割合の増加

目標値	自宅で死亡されるがん患者の割合の増加（5年間（25年度→29年度）で全国平均まで高める） 愛知県の現在値 6.5%→8.2%
取組施策	がん治療の推進、がん診療連携拠点病院等を中心とした地域の医療機関との病診連携の推進、在宅療養の推進 等

▶ 今後の予定

平成25年1月25日（金）～2月23日（土） パブリックコメントの実施
平成25年3月 健康づくり推進協議会がん対策部会
平成25年3月 策定・公表

あとがき

今回愛知県のがん対策について調べてみて一番に感じたことは、全国平均よりは高いものの、死亡原因の第一位であるにもかかわらず、がん検診の受診率が低いことです。どんな病気においても予防と早期発見が最も大切です。受診率の低さはがんに対して意識が低いことの表れだと思います。「がんになってから」ではなく、「がんになる前に」何が出来るかを一人ひとりが考えることが重要だと思います。がん治療という点で、愛知県、特に名古屋市においては愛知県がんセンター中央病院を中心に医療機関が充実しており、また、名古屋市北区に陽子線治療施設が建設されるなど、最先端の医療環境が整っています。これらの医療機関が十分にその力を発揮し、治療を必要とする患者さんが、質的に時間的に適切な治療が受けられるようにするためにも、予防と早期発見はかせないものだと思います。皆様にもっとがん予防などに関心をもっていただけるように愛知県が積極的な情報提供を行う体制作りをしていきたいと思っています。

愛知県議会議員 かわしま太郎



藤田保健衛生大学
ダヴィンチ低侵襲手術
トレーニングセンター等を視察



内視鏡手術支援ロボット
『ダヴィンチ S サージカルシステム』
7度の自由度を持つロボットアーム・鮮明な3次元画像を有した、今までの内視鏡下手術の利点をさらに向上させた最先端の手術支援システムです。